

12/5（日）実施の九州ブロック研修会の報告書

令和3年12月6日

九州ブロック長 筑豊掃除に学ぶ会

廣瀬 透

12/5（日）の午前中に本部から田中顧問と白鳥副会長に参加いただいて、Zoom で九州ブロック研修会を行いました。参加された会は、徳之島、鹿児島、薩摩隼人心洗組、宮崎、熊本、大分、筑後・八女、佐世保、福岡便教会、筑豊の各掃除に学ぶ会です。

まず初めに白鳥副会長より、会の現状と問題を伝えられ、今後の活動継続の方向性として、「私たち一人一人が相談役の想いを引き継ぎ、自立していく時代を迎えている」との話がありました。

その後、「鍵山秀三郎・ローヤル社長の『感動を売る』経営（62分）」を画面共有して皆で視聴し、視聴後に各会の代表が順に感想発表しました。映像は27年前に日経ベンチャーが制作したもので、日本を美しくする会が発足した当時の様子が分かり、相談役の生き方と思いが胸に強烈に響いてくる内容で、懐かしいを通り越して、改めて相談役の変わらぬ志と生き方に感動させられました。

小休止後の後段は、田中顧問から、参加された先生方に「学校ではSDGsはどのような扱いになっていますか？」との質問から始まり、掃除道とSDGsとの関係についてパワーポイントでとても分かり易い説明が20分間ありました。その後、掃除道とSDGsについての質問と意見交換を行い、我々が約30年間やり続けている掃除道を通じた道徳教育が、学校や社会で今求められているSDGs教育と密接な関係にあり、特に教えて終わりがちな教育現場でのSDGs実践（＝道徳教育）に繋がっていることがよく分かりました。

今回のブロック研修では、時代やコロナに流されがちになっていた現実から、『感動を売る』映像を視聴して、日本を美しくする会と相談役の想いの原点を振り返ることができましたので、今一度掃除道の意義と継続の気持ちを心に刻み直すことができました。

そして、今後の活動の方向性として、学校でのSDGs教育に掃除道が大きくかかわることが分かりましたので、コロナ後の世の中の大きな流れとして、SDGsが、私たちのやって来た掃除道の活動を後押ししていることに気づかせられました。ですから、田中顧問の言葉にもあったように、自信をもって掃除道を伝えていきたいと感じる研修会になりました。

